

A stylized grey silhouette of a hummingbird in flight, facing right, positioned behind the word "Hummingbird".

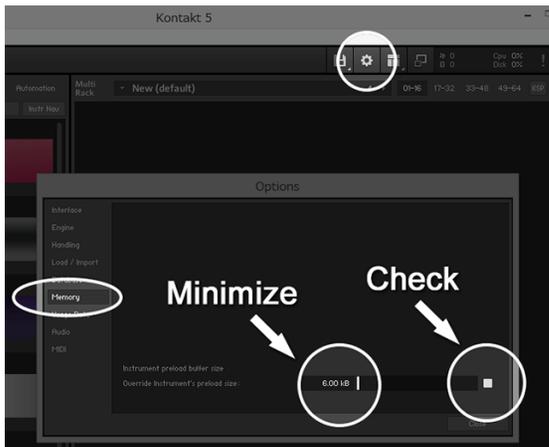
# **Hummingbird**

**update ver.1.22c**

## [重要] プリロード・バッファ・サイズの設定

マルチやインストゥルメントをロードする前に必ず*preload buffer size*の確認を行ってください。

ロード時に膨大な数のサンプルが読み込まれるため、まずKontaktのオプション画面でプリロードの設定を行ってください。Kontaktのプリロードの初期設定はストリーミングの安定度を優先させるためにプリロードのサイズがかなり大きく設定されています。（通常の使用では大きすぎる値が設定されています。）数多くのサンプルを読み込む際に生じるメモリ不足を回避するためには、プリロードのサイズを小さくしなくてはなりません。



### 1. 'Options' ボタン



をクリックして 'Memory' のタブをクリックしてください。

2. チェックボックスをクリックして白く塗りつぶされた状態にし、'Override Instrument' s preload size' の値を最小の6kbにしてください。

まずは最小の6kbで試してみることをお勧めいたします。もしサンプルのストリーミングがスムーズに行われず音切れ等が発生するようであれば、'Override Instruments preload size' の値を12kbにしてください。最適な値はお使いのコンピュータの性能によって異なりますが、一般的には12kbのプリロードバッファがあればストリーミングは問題なく行われます。それでもまだストリーミングが追いつかず音切れする場合には必要に応じて値を大きくしてください。

## ver. 1.22c 新機能および変更点：

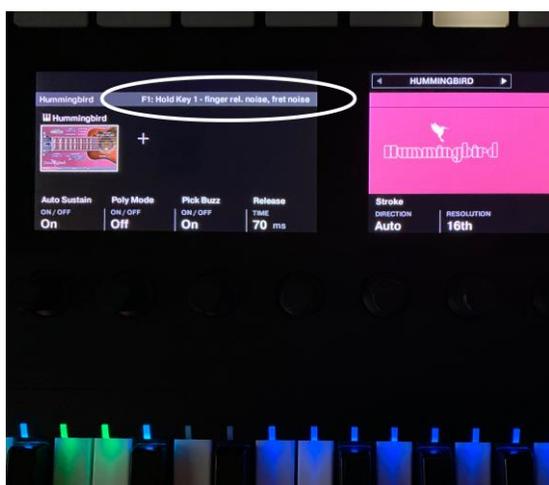
### 【追加された新機能】

- Kontakt Player / Kontaktのバーチャル・キーボードにマウスカーソルを合わせる、またはKomplete Kontrolキーボードを弾いた時に表示される情報にMIDIノート名も追加されました。



Kontakt Player / Kontaktのバーチャル・キーボードにマウスカーソルを合わせるとそのキーのMIDIノート名およびその機能などがInfo Panelに表示されます。

(このアップデートでMIDIノート名も表示されるようになりました)



Komplete Kontrolキーボードを使用している場合は、Komplete Kontrolキーボードで弾いたキーのMIDIノート名およびその機能などがKomplete Kontrolキーボードのディスプレイに表示されます。

### 【修正】

ある状況下において各弦のピッチベンドレンジ設定のスライダーの値が正しく表示されない現象を修正しました。

### [Kontakt Playerのバージョンをご確認ください]

このアップデートにはKontakt Player (またはKontakt) 5.8.1 以降のバージョンが必要となります。最新のKontakt Playerを以下のurlにてダウンロードしてください。

<https://www.native-instruments.com/jp/products/komplete/samplers/kontakt-5-player/free-download/>

---

## ver. 1.22 新機能および変更点：

### 【追加された新機能】

- ユーザー・コード・フォーム・エディタで作成したユーザー・コードを5フレットよりも上のポジションでプレビューできるようになりました。(新たに追加された左右の矢印ボタンで任意のポジションへ移動することができます)
- ユーザー・コード・フォーム・エディタでフレット番号とそのユーザー・コードの各弦の音名(コードの構成音)が表示されるようになりました。
- ユーザー・コード・フォーム・エディタでそのユーザー・コードが演奏可能なノーマル・キーの範囲と現在プレビュー用に選択されているポジションでそのコードを鳴らす際に使用するノーマル・キーのMIDIノート名が表示されるようになりました。

### 【修正】

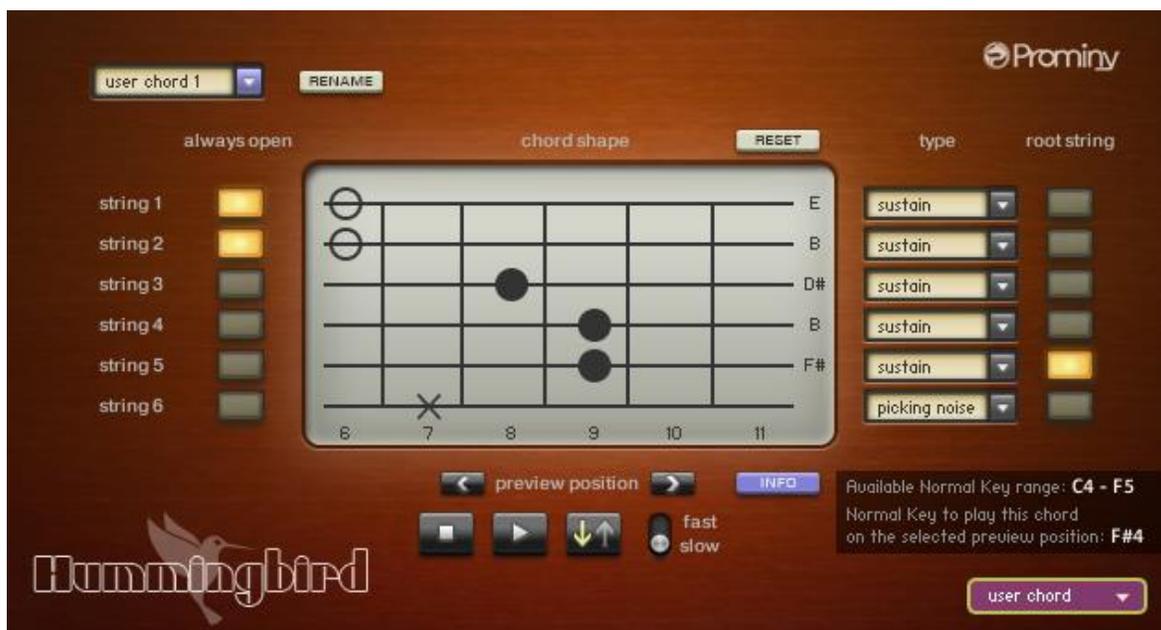
いくつかの状況下においてフレットボード・モニタのピックの画像が正しく表示されない現象を修正しました。

### [Kontakt Playerのバージョンをご確認ください]

このアップデートにはKontakt Player (またはKontakt) 5.8.1 以降のバージョンが必要となります。最新のKontakt Playerを以下のurlにてダウンロードしてください。

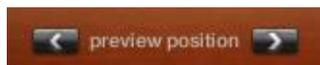
<https://www.native-instruments.com/jp/products/komplete/samplers/kontakt-5-player/free-download/>

## ユーザー・コード・フォーム・エディタの新機能



エディット中のフレット番号とそのユーザー・コードの各弦の音名（コードの構成音）が表示されるようになりました。

### 矢印ボタン（左/右）

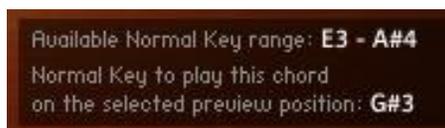


矢印ボタンをクリックするとエディット中のユーザー・コードのフレット・ポジションを左右に移動することができます。（以前のバージョンにおいても5フレットより上のユーザー・コードを作成することが可能でしたが、この新機能によりエディタ画面上で5フレットより上のポジションでのプレビューを行うことも可能となりました。）

### INFOボタン



このをクリックするとエディット中のユーザー・コードに関する以下の情報を表示/非表示することができます。



### Available Normal Key range

そのユーザー・コードが演奏可能なノーマル・キーの範囲

### Normal Key to preview the chord on the selected preview position

現在表示中のフレット・ポジションでそのユーザー・コードを鳴らす際に使用するノーマル・キー

## [ヒント]

Kontakt Player のヴァーチャル・キーボードで表示されている各種キー・レンジ（範囲）はフレットボード・モニタ画面で現在演奏対象として選択されている奏法（instrument）のキー・レンジです。

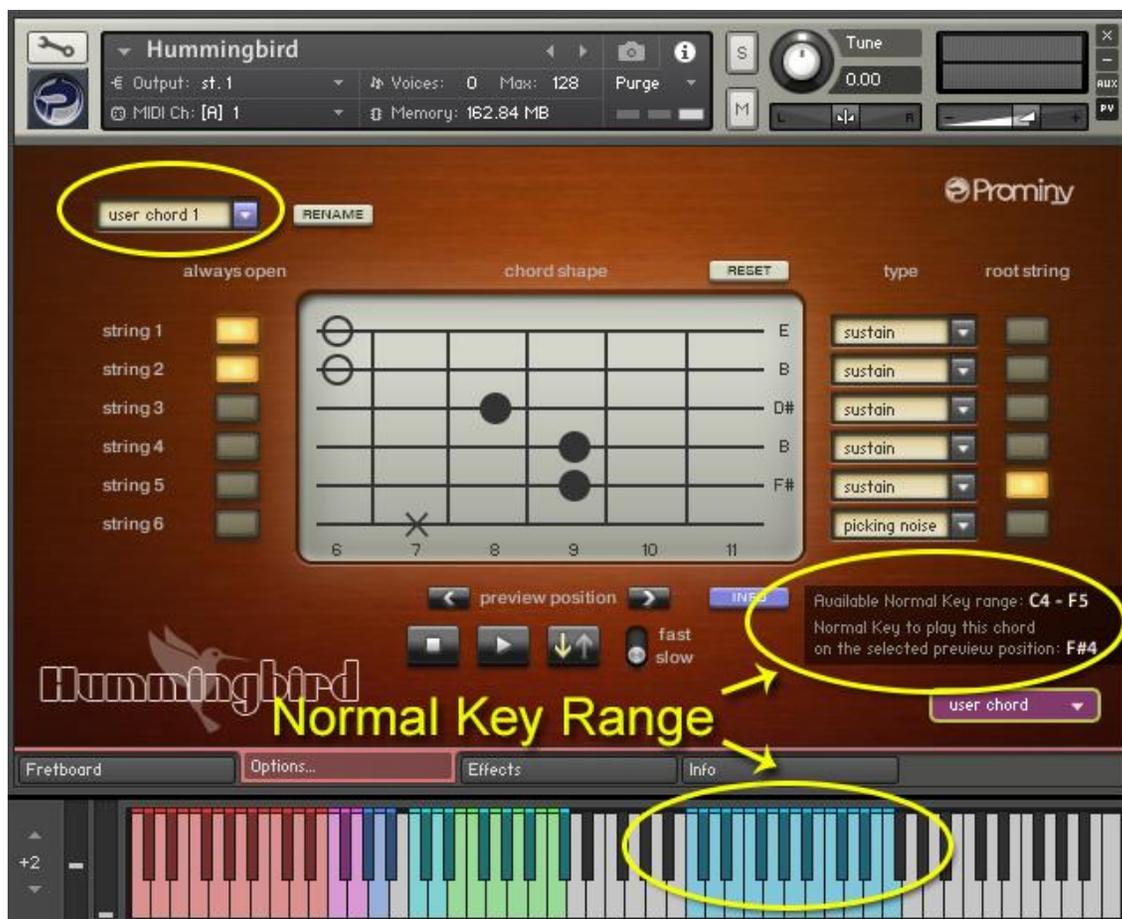
エディット中のコードはプレビューボタンをクリックして確認することができますが、もし *Kontakt Player* のヴァーチャル・キーボードやお使いの MIDI キーボード・コントローラでそのユーザー・コードを鳴らしたい場合は、フレットボード・モニタ画面でそのユーザー・コードが選択されている必要があります。

（例：「user chord 1」をエディット中に Kontakt Player のヴァーチャル・キーボードや MIDI キーボード・コントローラで鳴らしたい場合）



ユーザー・コード・フォーム・エディタ画面を表示する前に、まずフレットボード・モニタ画面左上にある「instrument」のプルダウンメニューから「user chord 1」を選択します。

その次にユーザー・コード・フォーム・エディタ画面を表示し、ここでも画面左上のプルダウンメニューから「user chord 1」を選択します。これを行うことにより、エディット中のユーザー・コードの演奏可能なキー・レンジが、Kontakt Player のヴァーチャル・キーボードに表示されます。



---

## ver. 1.21 新機能および変更点：

### 【追加された新機能】

Kontakt Player上での情報表示が強化され、KOMLETE KONTROL シリーズキーボードをお持ちでない場合でもKontakt Playerの画面のみで様々な情報を確認することが可能となりました。Komplete Kontrol Keyboardでの情報表示や各鍵盤のライトの点灯方法もKontakt Playerのヴァーチャル・キーボードと同様の改善を行いました。

- Kontakt Playerのヴァーチャル・キーボードの各鍵盤にマウスカーソルを合わせるとそのキーに割り当てられている奏法や機能がInfo Paneで表示されるようになりました。
- Kontakt Playerのヴァーチャル・キーボードのstring select key switchの各鍵盤のライト (light guide) が明るく点灯することにより、現在選択されている弦が表示されるようになりました。
- Kontakt Playerのヴァーチャル・キーボードのstring skip key switchの各鍵盤のライト (light guide) が明るく点灯することにより、現在押されているstring skip key switchが表示されるようになりました。- 'forced hammer-on / pull-off'

### 【修正】

- 「prefer open / low」がONの状態ではF#m7flat7を弾いた時、コードの構成音の一つ、Aの代わりにA#が鳴っていたのを修正
- いくつかの状況下においてフレットボード上の表示が正しく行われない現象を修正

### [Kontakt Playerのバージョンをご確認ください]

このアップデートにはKontakt Player (またはKontakt) 5.8.1以降のバージョンが必要となります。最新のKontakt Playerを以下のurlにてダウンロードしてください。

<https://www.native-instruments.com/jp/products/komplete/samplers/kontakt-5-player/free-download/>

---

## ver. 1.20 新機能および変更点 :

### 【追加された新機能】

- 'forced hammer-on / pull-off'
- コード、m11th、 9sus4 を追加（それぞれ 5つのコードフォームのバリエーションを選択可能）

### 【改善】

- hybrid モード が選択されている状態で string skip key switch を使用した時に自動的にリアルサンプルコードの代わりにエミュレートコードを鳴らすように変更  
（以前のバージョンでは hybrid モード が選択されている時は string skip key switch は無効）

### 【修正】

- ある状況下において Stop Key に割り当てられたピッキングノイズが正常に鳴らない場合がある不具合を修正
- hybrid モードが選択されている状態かつ prefer low / open が ON の時、string / chord shape select key switch を使用するとコードが正しいポジションで鳴らない場合がある不具合を修正
- その他軽微なバグ修正

### [Kontakt Playerのバージョンをご確認ください]

このアップデートにはKontakt Player（またはKontakt）5.7.3 以降のバージョンが必要となります。最新のKontakt Playerを以下のurlにてダウンロードしてください。

<https://www.native-instruments.com/jp/products/komplete/samplers/kontakt-5-player/free-download/>

## Forced hammer-on / pull-off (強制ハンマリング/プリング機能)

この機能を使用すると、通常のススティンのサンプルの代わりにハンマリングまたはプリングのサンプルを鳴らすことができます。例えば、この機能と[ストリング・スキップ・キー・スイッチ](#)を併用することで、あるコードを鳴らした後、そのコードの構成音の内、特定の弦だけをハンマリングまたはプリングすることなどが可能です。有名な曲を例にとると、「Long Train Running」のイントロのギターのように、コードの一部の音だけをハンマリング付きで演奏することができます。Forced hammer-on / pull-off は MIDI CC# 15 で有効化/無効化できます。

### MIDI CC# 15

0: OFF

1 - 63: Forced hammer-on

64 - 127: Forced pull-off

### 使用例

以下の例ではハンマリング付きのマイナーコードを鳴らします。最初のコード、G9sus4を鳴らしてから1、5弦はそのまま鳴らしたまま2、3、4弦のみをハンマリングします。こうしたハンマリングを加えることにより、結果としてハンマリング付きの Gm (Gマイナー)になります。

1



2



## Forced hammer-on / pull-off の打ち込み例

The screenshot displays a MIDI piano roll with a vertical axis for piano keys (C#8 to C-1) and a horizontal axis for time, divided into measures 1.3, 1.4, 2, and 2.2. The piano roll shows several MIDI events:

- string skip:** A red bar in measure 2, spanning from the C#8 key to the C8 key.
- string / chord shape select:** A red bar in measure 1.4, spanning from the C7 key to the C6 key.
- play chords:** Two red bars in measure 2, labeled '1' and '2', spanning from the C4 key to the C3 key.
- instrument select with chord recognition:** Three red bars in measure 2, spanning from the C1 key to the C0 key.
- MIDI CC# 15 forced hammer-on / pull off:** A grey bar in measure 2, spanning from the C-1 key to the C-2 key.

1 番目のコードを鳴らした後、  
2 番目のコードを鳴らす前に  
MIDI CC# 15 の値を1-63の間の値  
にしてForced hammer-on を有効に  
します。

インストゥルメント・セレクト・  
キー・スイッチで次のコードを選  
択します。

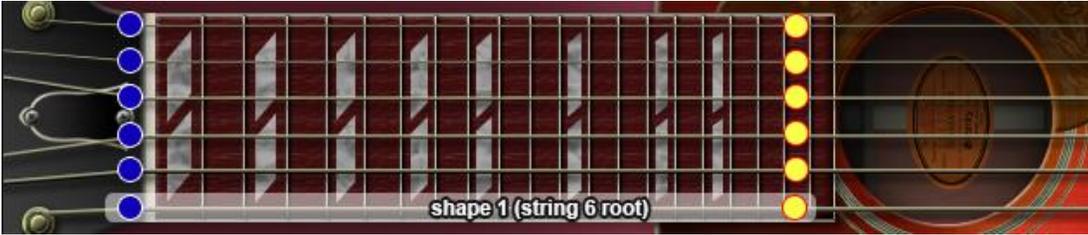
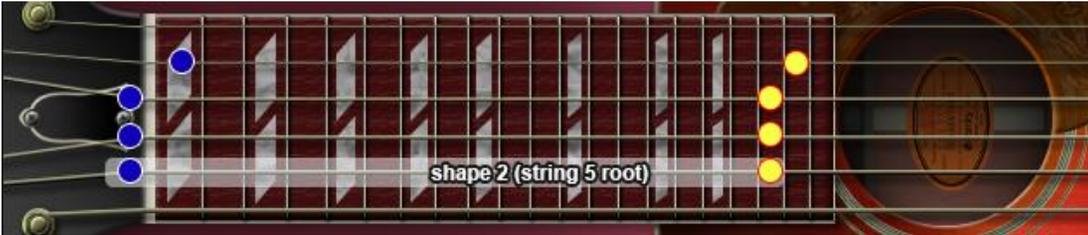
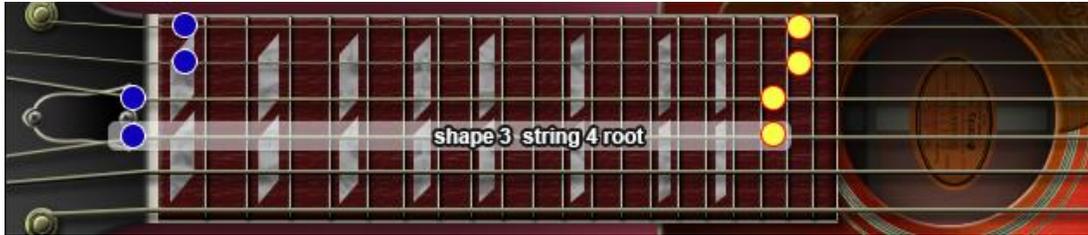
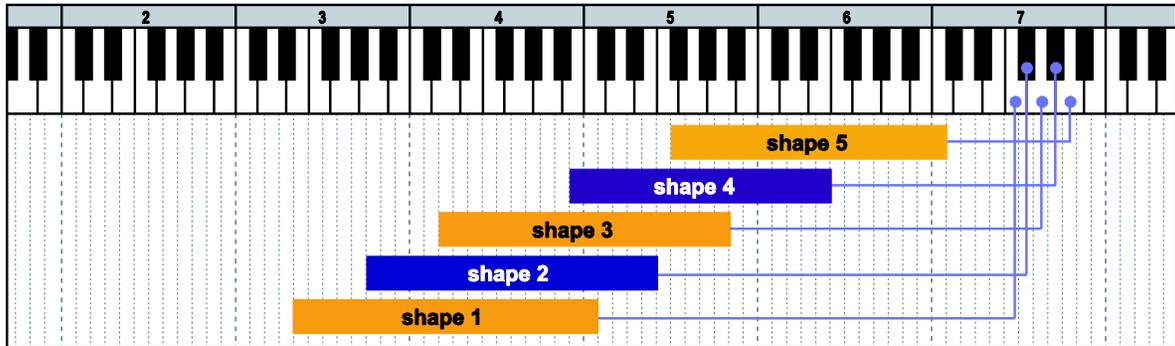
2 番目のコードでは1 弦と5 弦に  
関しては最初のコードで鳴らした  
音をそのまま鳴らしておきたいの  
で、[ストリング・スキップ・キー・  
スイッチ](#)、C#8（5 弦用）および F8  
（1 弦用）を入れます。

2 番目のコードを演奏すると、2,  
3, 4 弦のみがハンマリングされ  
ます。

結果として、1 番目のコードはハン  
マリング付きのGm（Gマイナー）  
になります。

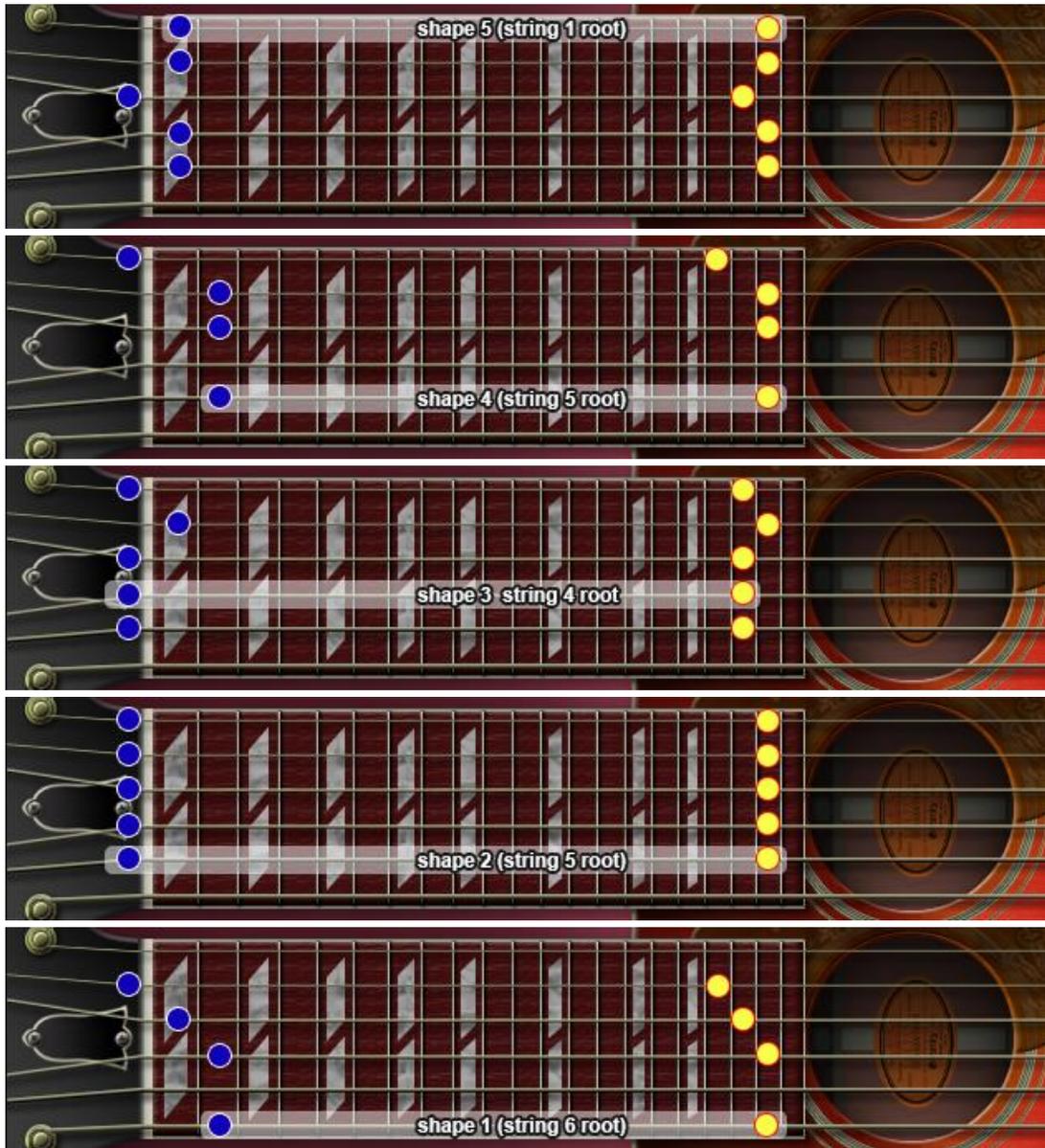
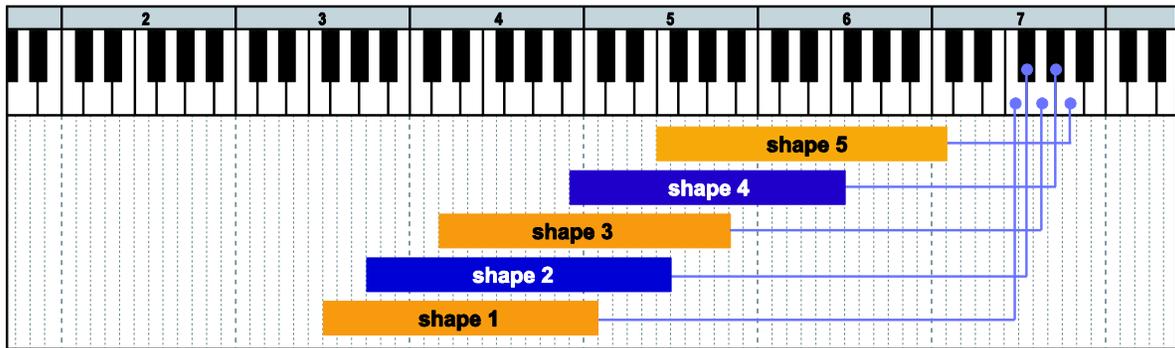
# 追加コードプリセット (m11、9sus4)

m11



● = lowest position ● = highest position

# 9sus4

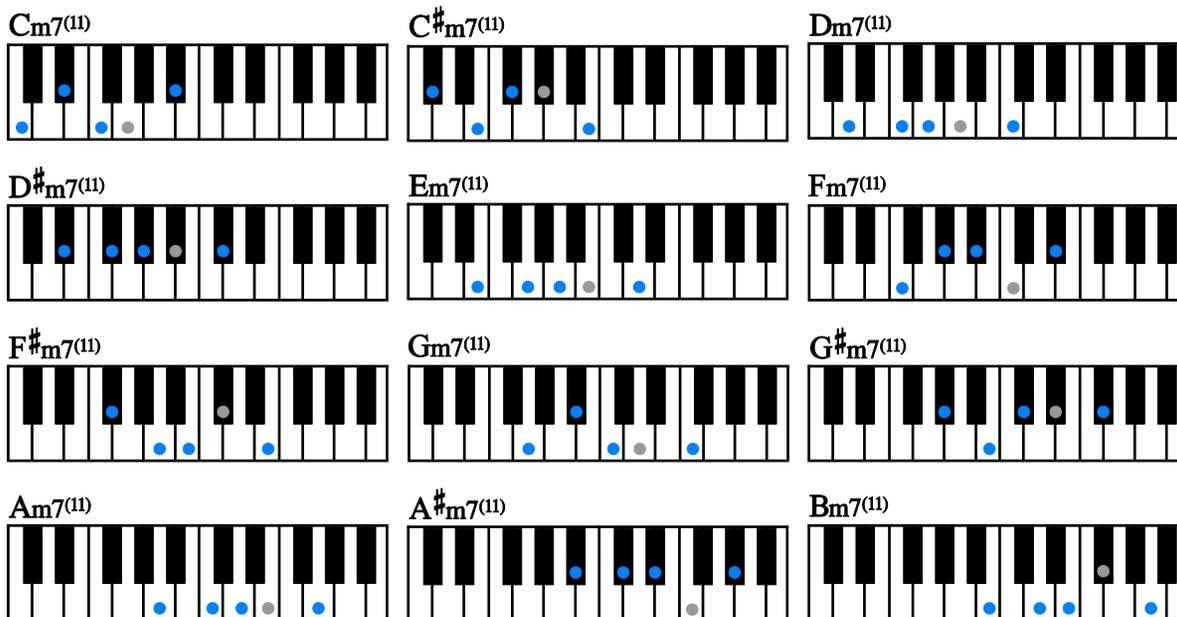


● = lowest position ● = highest position

## 追加コードプリセット (m11、9sus4) コード認識コマンド

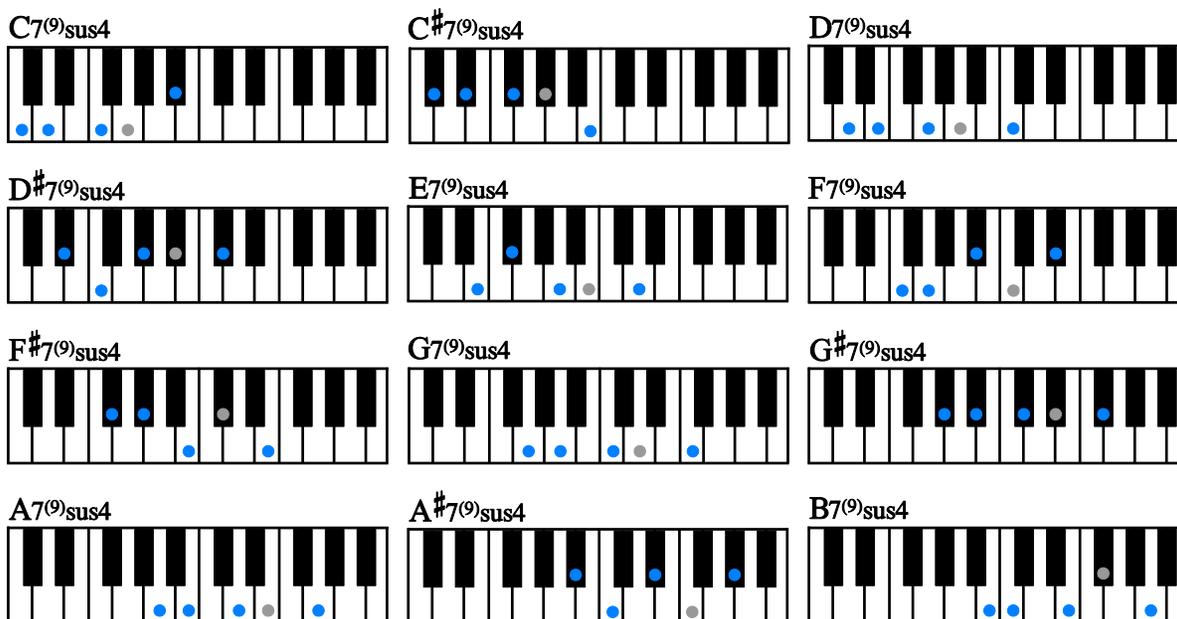
### m11

root + minor3rd + 11th(4th) + 7th (5度は省略可能)



### 9sus4

root + 9th(2nd) + 4th + 7th (5度は省略可能)



---

## ver. 1.11 新機能および変更点：

### 【追加された新機能】

- Chord Shape Select Key Switch が Strum Key および Arpeggio Key に対応しました。以前のバージョンでは Chord Shape Select Key Switch は Normal Key のみの対応となっていたましたが、このバージョンアップにより、Strum Key および Arpeggio Key を使用中に Normal Key を弾かずに chord shape (コードフォーム) を確定させることが可能となりました。
- Kontaktのヴァーチャル・キーボードおよび KOMLETE KONTROL S series keyboard (Komplete Kontrolアプリケーションまたはプラグインで使用時) の Light Guide が現在使用中のインストゥルメントで選択可能な string / chord shape switch のみを表示するようになりました。

### 【修正】

- ある状況下においてアルペジオキーに正しいコードの構成音が割り当てられない場合がある不具合を修正

### [Kontakt Playerのバージョンをご確認ください]

このアップデートには Kontakt Player (または Kontakt) 5.6.8 以降のバージョンが必要となります。最新の Kontakt Player を以下のurlにてダウンロードしてください。

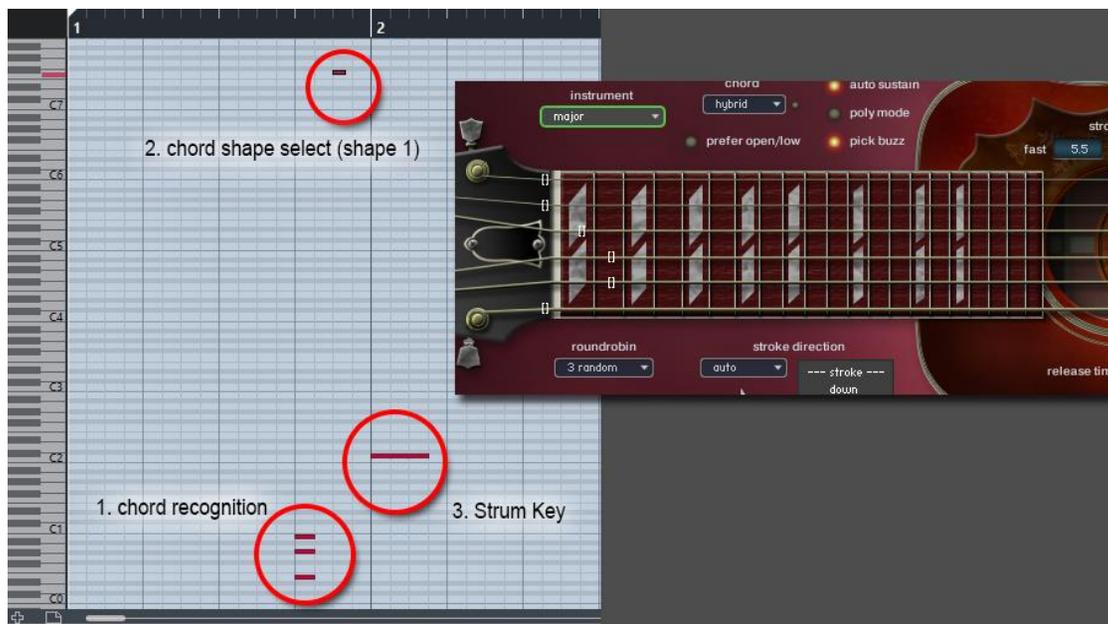
<https://www.native-instruments.com/jp/products/komplete/samplers/kontakt-5-player/free-download/>

## ストラムキー/アルペジオキー使用時のコードシェイプセレクト

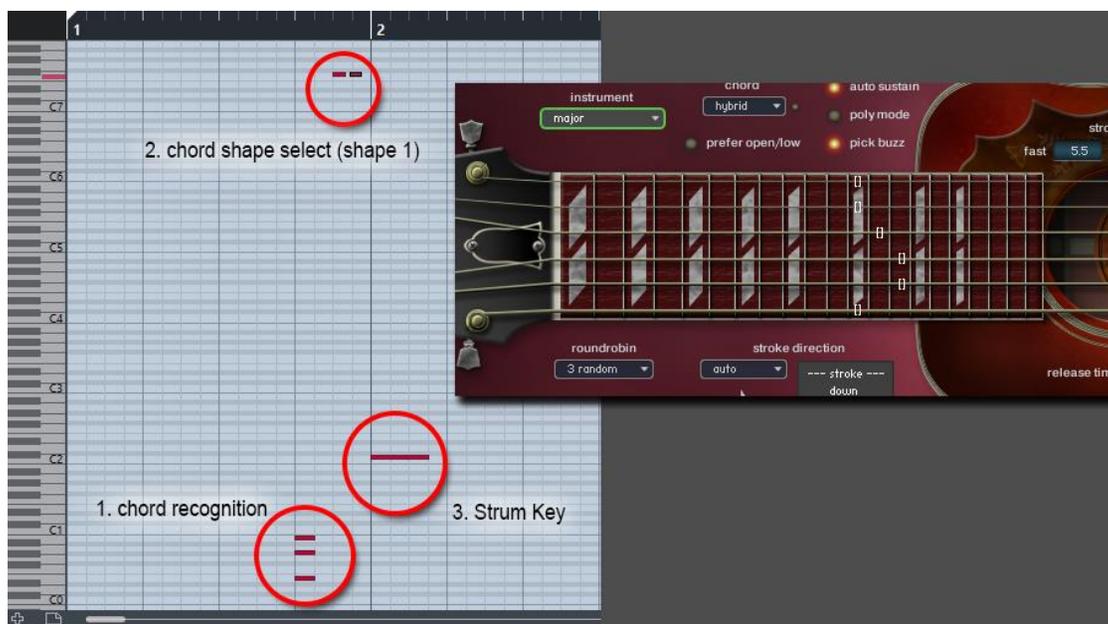
### コードシェイプ (コードフォーム) の選択方法

1. インストゥルメント・セレクト・キー・スイッチの範囲 (C-2 - E1) でコード認識を行う
2. コードシェイプセレクト・キースイッチを1回または2回押す
3. ストラムキーまたはアルペジオキーを弾く

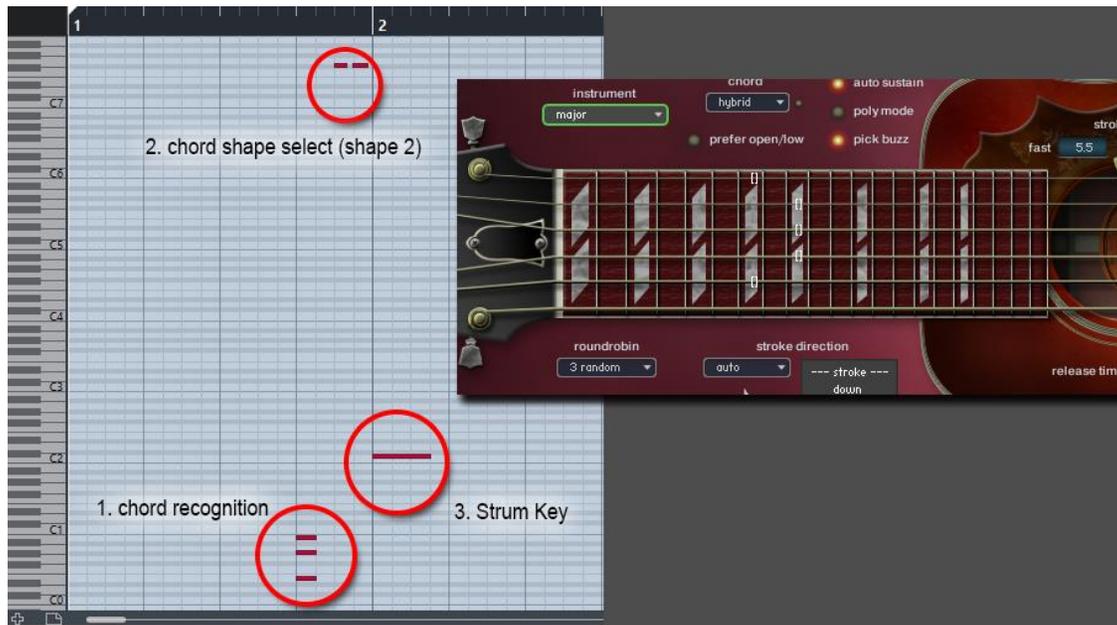
コードシェイプセレクト・キースイッチを一回だけ押すと、そのコードフォームの演奏可能な一番低いポジション (同ルート弦上の1番目のオクターブ内のポジション) が選択されます。



コードシェイプセレクト・キースイッチを2回連続で押すと、そのコードフォームの演奏可能な一番低いポジションの12フレット上 (同ルート弦上の2番目のオクターブ) のポジションが選択されます。



コードシェイプセレクト・キースイッチを2回連続で押しても2番目のオクターブが演奏可能なポジションの範囲外（フレットボードの範囲外）であれば、1番目のオクターブ内のポジションが選択されます。



\* コードシェイプセレクト・キースイッチ 3 回連続で押した場合、演奏可能な一番高いポジション（2 番目または 1 番目のオクターブ内のポジション）が選択されます。（Hummingbird は 20 フレットのギターなので同一弦において 3 番目のオクターブが無いからです）

---

## ver. 1.10 新機能および変更点：

### 【追加された新機能】

#### 「string skip key switch」機能

特定の弦のみ弾かない、特定の弦のみを鳴らしたままにするといった指定をキー・スイッチで行うことが可能になりました。

#### ピッチベンドレンジを各弦ごとに設定する機能

この機能により弦ごとに異なるベンド幅を設定し、複数弦を使用した様々なチョーキングを再現することが可能となりました。

#### Native Kontrol Standard (NKS) を公式サポート

KOMPLETE KONTROL Sシリーズキーボード、MASCHINE ハードウェアおよびソフトウェアから主要パラメータをコントロール、KOMPLETE KONTROL SシリーズキーボードのLight Guide（鍵盤一つ一つについたLED）でキー・スイッチや演奏可能レンジの確認が可能になりました。

### 【修正】

- 日本語マニュアル、Hummingbird\_user\_manual\_Japanese.pdfの18ページ、「コード・インストゥルメントの選択方法」に関する記述においてインストゥルメント・セレクト・キー・スイッチの範囲の誤りを訂正

誤) インストゥルメント・セレクト・キー・スイッチの範囲（E3 - C7）でコードの構成音を押しえると

正) インストゥルメント・セレクト・キー・スイッチの範囲（C-2 - E1）でコードの構成音を押しえると

- その他バグ修正

## ストリング・スキップ・キー・スイッチ(string skip key switch)

特定の弦のみ弾かない、特定の弦のみを鳴らしたままにするといった指定をキー・スイッチで行うことが可能になりました。指定したい弦のストリング・スキップ・キー・スイッチを押さえた状態で次の音を弾くと、その弦はストローク（ピッキング）の対象外となります。つまり、その弦は、キー・スイッチを押す前に鳴らした音がそのまま鳴り続けます。元々鳴っていなければピッキング対象から除外されているので鳴りません。これは Strum Settingの「do nothing」機能に似ていますが、より柔軟で自由度の高い使用方法が可能です。例えば、

- ・コードを鳴らした後に他の弦を鳴らしたまま特定の弦のみをレガートする
- ・アルペジオ演奏時に他の弦を鳴らしたまま特定の弦のみハンマリング、プリングを行う
- ・コードを鳴らした後に4、5、6弦のストリング・スキップ・キー・スイッチを押さえた状態でsingle noteのインストゥルメントに切り替え、4、5、6弦はコードの音を鳴らしたまま1、2、3弦を使用して何かフレーズを演奏する
- ・シンプルにStrum Keyの「do nothing」機能と同じように使用する

などといったことができます。



‘options...’ タブをクリック

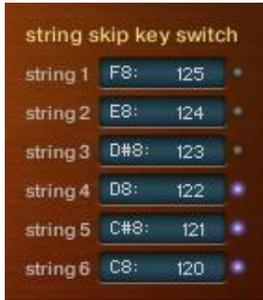


インターフェイス右下部分にあるプルダウンメニューをクリックして ‘other settings’ を選択



初期設定:

- String 1: F8 (MIDIノート番号: 125)
- String 2: E8 (MIDIノート番号: 124)
- String 3: D#8 (MIDIノート番号: 123)
- String 4: D8 (MIDIノート番号: 122)
- String 5: C#8 (MIDIノート番号: 121)
- String 6: C8 (MIDIノート番号: 120)



キースイッチを押している間（この例では 6 弦用の C8、5 弦用の C#8、4 弦用の D8）、そのキースイッチの LED が点灯します。



キースイッチを押している間（この例では6弦用のC8、5弦用のC#8、4弦用のD8）、フレットボード・モニタでそのキースイッチが押されている弦のポジション表示マークの色がグレーになります。

## 各弦個別のピッチバンド幅の設定機能

これにより、複数弦を使用した様々なチョーキングを再現することが可能となりました。これにより、例えば、

- ・上の弦は半音、下の弦は1音でチョーキングする
- ・poly modeやコード(emulated chord)での演奏時に特定の弦のみチョーキングする、ビブラートをかける

といったことが可能です。



‘options…’ タブをクリック



インターフェイス右下部分にあるプルダウンメニューをクリックして ‘other settings’ を選択



### Set all

このノブですべての弦のピッチバンド幅を一度に設定することができます。MIDI CC# 29で設定することも可能です。

### MIDI CCを使用して各弦を個別に設定する

各弦のピッチバンド幅の設定はMIDI CC# 28と30を使用して行うことも可能です。例えば2弦のバンド幅を変更したい場合、MIDI CC# 28 に2(=弦の番号)を送信、MIDI CC# 30 に設定したいバンド幅になるように適切な値を送信します。

<b>MIDI CC# 28</b>	<b>エディット対象となる弦番号</b> 1: string 1 2: string 2 3: string 3 4: string 4 5: string 5 6: string 6
<b>MIDI CC# 30</b>	<b>ベンド幅</b> 0 (0 ベンドなし) - 127 (12 セミトーン)

Set allノブおよび各弦のベンド幅のスライダーは、Macの場合はコマンドキーを押しながらクリック (Mac)、Windowsの場合はコントロールキーを押しながらクリックすると初期値の2セミトーンにリセットされます。

**Hummingbird update ver. 1.22**

Written by AKIHITO OKAWA

January 20, 2020

Copyright © 2004 – 2020 Prominy, Inc / AKI Sound

All rights reserved



<http://prominy.com>

Email: [info@prominy.com](mailto:info@prominy.com)